

7-4

胡椒開発計画パイロットインフラ整備
深井戸掘削工事契約書

ドミニカ共和国サントドミンゴ市 JICA 事務所長 大沢尚正 と _____

との間で _____ 年 _____ 月 _____ 日 サントドミンゴ市 A.V. BOLIVAR No. 918 JICA
事務所にて胡椒開発計画パイロットインフラ整備深井戸掘削工事契約書について、以
下の事項につき契約書を締結した。

1. 定 義

本契約書に使う用語は別様の解釈を除き次の意味を有する。

“JICA” ; 発注者 国際協力事業団ドミニカ事務所長 大沢尚正 とする。

“ ” ; 工事請負業者 _____
身分証明 _____ とする。

“契約書類” ; 発注者と受注者間の契約書類は、契約書、一般仕様書、深井戸掘削
仕様書、図面、見積書をいう。

“工 事” ; 工事契約書類の合意を完了するため、資機材その他の必要仕事一切
を行わねばならない。

“掘 削 地” ; La Majagua (ドミニカ共和国 サンチェス県サンチェス
郡 IAD 入植地内)

“監 督 員” ; JICA の指名する監督員 _____ とする。

2. 工事概要

1.0 吋口径深井戸最深地表下30 mまで

3. 工 期

3. 1 _____ は契約された日より7日以内に着工しなければならない。

3. 2 _____ は45日以内に工事を完了しなければならない。

4. 契約金額 _____

地表下30 m間に良質かつ十分な水量が得られた場合は雨後の掘削は中止し、契約金額仕訳書に基づき残掘削分を差引くものとする。

5. 工事請負業者の義務

5. 1 _____ は契約書類及び監督員の指示に従って工事を行わなければならない。

5. 2 _____ は監督員の要請に従い、施工計画書、工程表、施工図を提出する。

5. 3 _____ は使用する資機材リストをJICAに提出する。

5. 4 _____ は監督員に承認を受けなかった資機材の使用及び工事を行ってはならない。

5. 5 _____ は工事方法、方法、技術、完工に責任を負う。

5. 6 _____ は工事完工するため現場責任者をおく事。

5. 7 _____ は着工前に測量を行い、高さ、位置について監督員の承認を受ける事。

5. 8 _____ は工事資機材について保障責任を負う。

5. 9 本契約においては準請負人の契約は認められない。

但し、請負人側に工事に必要な機材又は専門家が不足している場合は、前もってJICAの承認を受けた上で行う事が出来る。

この場合でも _____ は請負人として最終責任から免れる事は出来ない。

6. 保 障

6. 1 _____ は契約日より7日以内に契約額の10%に相当する1.5ヶ月間の工事履行保証（又は、銀行保証書）をJICAに提出する。
6. 2 _____ は契約金額の10%に相当する額を工事完了日より1年間の履行保証としてJICAに提出する。
6. 3 _____ は全ての工事に対し、保険を掛ける。

7. 支 払 い

7. 1 JICAは _____ に契約書にある合計額をRD\$（ペソ）で支払う。

7. 2 支払いは以下によって支払われる。

第1回目： 履行保証書が提出された時に契約材料費の全額と材料費を除いた額の50%

第2回目： 全ての工事が完了し、1年間の履行保証書（6.2）を提出後契約額の残額分

但し、この場合の契約金額は最深30m掘削に対する未済部分を仕様書により差引いたものとする。

8. 追加工事

JICAによる追加工事が生じた場合、監督員の指示により契約者に指示され、契約者提出の見積単価によって支払が行われるが、見積りにないものは両者の協議によって決める。

9. 関連工事との協力

JICAが関連工事に関して指示した場合はこれに従う事。

10. 不可抗力

10. 1 不可抗力が生じた場合には請負者は契約を解除することが出来る。

不可抗力とは、自然災害、ストライキ、工場閉鎖、戦争、暴動、地震、暴

風等自力で回避出来ないものをいう。

10. 2 不可抗力が生じた場合、発生日の翌日より14日以内に契約者は文書をもってJICAに通告する。

10. 3 不可抗力が生じた場合、発注者は契約解除までに行った工事に対する支払いを行う。

1 1. 遅延に対する懲罰

契約仕様に合致する工事を請負者が工期内に完了しない場合、発注者は損害に対して懲罰を課することが出来る。

_____ は以下の計算に従って遅延金を支払う。

$$\frac{\text{支払残額}}{1,000} \times \text{遅延日数}$$

但し、工期延長を監督員が承認した場合は、同日数は懲罰の対象とならない。

1 2. 紛争の解決

12. 1 本契約の実施にはドミニカ共和国法規が適用される。

12. 2 本契約は両者の相互信頼をもって行う。

契約にそごがあった場合ただちに両者で調整にあたる。

12. 3 問題が解決しない場合は裁定による。

12. 4 発注者は本契約の未決事項をサントドミンゴ市裁判所に提出する。

1 3. 労働紛争

_____ は本契約における労務管理を責任をもって行い、全ての労働紛争に対処する。

1 4. 第三者に対する被害

請負者は請負者の不注意により発生した工期内の第三者への被害に対して責任を負う。

15. 本契約はオリジナル3部をもって成立する。

7-5 一般仕様書

7-2 一般施設工事一般仕様書に準ずる。

7-6 深井戸掘削工事仕様書

1. 深井戸の位置

ドミニカ共和国サンチェス県サンチェス郡 La Majagua IAD入植地内でJICA及び監督員の示す位置。

2. 深井戸の規模構造

深井戸は10時のケーシングパイプ挿入が可能な口径で掘削し、内部に口径10時のケーシングパイプを入れ、ケーシングパイプに施したストレーナーで十分な水が得られる構造とする。

3. 機械の搬入、仮設等

請負人は、掘削工事に先だち現地調査を充分に行い、掘削機の搬入方法につき検討すると共に、工事期間中必要な仮設についても支障なき計画をたて施工に入るものとする。

4. 掘削方法

請負人は現地地質に適した掘削方法を採用する。

5. 掘削途中の地質

請負人は掘削途中の地質につき、たえず監督員に報告し、要すればスライム等を、採取して、説明するものとする。

6. 崩壊防止

請負人は、充分なる井側面の崩壊防止等を講じて掘削を行うものとする。

7. 水脈の発見

有力な水脈に達した場合には、その状況を監督員に報告して判断を仰ぐものとする。

8. ケーシングパイプ

ケーシングパイプは10吋鋼管(重量m当30kg)を用い、採水部分は搾孔して、採水を容易をならしめ、管の全体を通じて防錆塗装を施すものとする。

又、ケーシングパイプの継手は溶接により漏水等のおそれのないよう措置するものとする。

9. 防砂措置

井側面とケーシングパイプ間には間隔がある場合、砂の流入を押さえるため砂利詰めとなるが砂利の大きさ等については防砂効果が十分に発揮できる粒径のものを用いることとする。

10. 汚染防止策

表層の汚染水が井側に沿って流入すること又は浅層地下水が下部の良質水を混交すること等を防止するため、良質水脈以外の部分は砂利に替えてコンクリートを流し込むものとする。

11. 揚水試験

請負人は完工前に試験ポンプを用いて揚水試験を実施する。

この試験には必ず監督員の立会を求め、揚水量、水位低下量、水質等のデータを収集して監督員に報告する。

12. 保全措置

全ての工事が完成し、JICAに引渡すこととなるが、請負人は井戸の開口部は第三者によるいたづら等により井戸内に異物の投込み等が行われないよう頑丈な蓋をして、保全するものとする。

7-7

胡椒開発計画パイロットインフラ整備

ソーラーポンプ購入契約書

ドミニカ共和国サントドミンゴ市JICA事務所長 大沢尚正 と _____

との間で _____ 年 _____ 月 _____ 日 サントドミンゴ市 A.V. BOLIVAR No. 818 JICA
事務所にて胡椒開発計画パイロットインフラ整備ソーラーポンプ購入について、以下
の事項につき契約書を締結した。

1. 定 義

本契約書に使う用語は別様の解釈を除き次の意味を有する。

“JICA” ; 購入発注者 国際協力事業団ドミニカ事務所長 大沢尚正 とする。

“ ” ; 供給受注者 _____

“契約書類” ; 発注者と受注者間の契約書類は、契約書、仕様書、設置位置図、見
積書をいう。

“購入機材” ; 現地において目的を達する一切の資機材を含む。

“設置場所” ; La Majagua (ドミニカ共和国 SANCHEZ 県
SANCHEZ 郡 IAD 入植地内)

“代理人” ; JICAの指名する _____

2. 購入資機材

日積算日射量 600mwh/cm^2 、全揚程80mの条件下で 10m^3 /日の揚水を可能にするソーラーポンプ資機材。

3. 納期及び受渡場所

3.1 納期 年 月 日

3.2 ドミニカ共和国内発注者の指定する場所

4. 契約金額

受渡場所までの製造、梱包、送料、保険料及び組立時における2週間据付監督、費用一切を含み

_____ U S \$

5. 受注者の義務

5.1 受注者は発注者の希望に合致する資機材を提供すること。

5.2 受注者はあらかじめ発注者の代理人に対し、機能、組立方法につき講習を実施すること。

5.3 資機材の図面、リスト、組立マニュアル等を発注者又は、代理人に提出すること

5.4 発注者が希望する目的に合致して、ソーラーポンプが稼動することに責任を負うこと。

5.5 組立時には技術員を派遣して、据付監督を行いJICA代理人の組立に協力すること。

5.6 供給資機材につき保証責任を負うこと。

6. 保 障

6.1 _____は契約日より7日以内に契約額の10%に相当する150日間の受渡保証書(又は、銀行保証書)をJICAに提出する。

- 6.2 _____ は契約金額の10%に相当する額を組立完了日より1年間の履行保証としてJICAに提出する。

6. 3 _____ は資機材受渡しまでの保険を掛ける。

7. 支払い

JICAは _____ に対し契約書にある合計金額をドルで支払う。

支払いは以下によって支払われる。

第1回目； 履行保証書が提出された時に契約の金額の40%

第2回目； 現地受渡しが完了した時点で20%

第2回目； 組立完了後前記(6.2)履行保証書の提出後、契約額の残額分

8. 不可抗力

8. 1 不可抗力が生じ現地での受渡しが困難になった場合、受渡者は契約を解除出来る。

不可抗力とは、自然災害、ストライキ、工場閉鎖、戦争、暴動、地震、暴風等自力で回避出来ないものをいう。

8. 2 不可抗力が生じた場合、発生日の翌日より14日以内に受渡者は文書をもってJICAに通告する。

但し、受注者は不可抗力が生じた時点までの成果品をJICAの指示する場所で引渡す。

9. 遅延に対する懲罰

契約仕様に合致する資機材を受渡者が納期内に受渡し出来ない場合、発注者は損害に対して懲罰を課することが出来る。

_____ は以下の計算に従って遅延金を支払う。

$$\frac{\text{支払残額}}{1,000} \times \text{遅延日数}$$

但し、JICA又は代理人が承認した場合は、同日数は懲罰の対象とはならない。

ソーラ契-4

10. 紛争の解決

10. 1 本契約の実施は、日本国内で起きた問題は日本国法、ドミニカ共和国国内で

起きた問題はドミニカ共和国法が適用される。

10. 2 本契約は両者の相互信頼をもって行う。

契約にそごがあった場合ただちに両者で調整にあたる。

10. 3 問題が解決しない場合は裁定による。

10. 4 発注者は、本契約の未決事項を日本国又は、ドミニカ共和国の裁判所に提出する。

1 1. 第三者に対する被害

受注者は受注者の不注意により受渡前に第三者に被害を及ぼした場合責任を負う。

1 2. 無税通関に関する責任

本資機材は、結果的にドミニカ共和国へ供与されるものであるから、通関に関してJICAが責任をもって無税通関を計る。

1 3. 本契約はオリジナル3部をもって成立する。

7-8 ソーラーポンプ購入仕様書

1. ソーラーポンプの設置条件は、次に示す通り。

- 1-1 設置場所 ; ドミニカ共和国サンチエス県サンチエス郡、ラマハグア地区 (IAD入植内)
- 1-2 最少揚水量 ; 日積算日射 600 mwh/cm^2 ・日全揚程 80 m の条件下で 10 m^3 /日とする。
- 1-3 太陽電池容量 ; 日射強度 100 mw/cm^2 、エアーマス 1.5 、素子温度 25°C の条件下で 1.7 kw を越えるものとする。
- 1-4 太陽電池素子 ; 多結晶シリコンで素子やモジュールは、ホットスポットに対し固有の耐性あること。
- 1-5 太陽電気取付台 ; 形式-固定形
耐風圧-風速 40 m/sec を越えるものとする。
材質-溶融亜鉛メッキ仕上げ
- 1-6 DC/AC ; 形式-VVVF、PWM
インバーター 容量- 1.1 KV 以上
- 1-7 ポンプ ; 形式-交流水中ポンプ
容量- 1.5 KW 以上
材質-ステンレス
- 1-8 井戸 ; 口径10寸ケーシングパイプ打込済深井戸は発注者側で準備する。

2. 機器の供給範囲

- 太陽電池モジュール
- 太陽電池取付台
- AC/DCインバーター
- ポンプ及び付属品

-ケーブル類

-ポンプ-貯水槽内のパイプ

全ての機器は、契約書中の「技術仕様」を満足しなければならない。しかし、受注者は、機器の特性、容量などが規定された一般仕様に適する場合は、同等品を供給することも可能とする。

3. 掘付監督

受注者は、建設、組立、現場テスト及びソーラーポンプシステムの総合試験の監督として、1ヶ月を越えない範囲で技術者を監督として派遣するものとする。

発注者は、コンクリート基礎、貯水槽、配水管、土木工事、役務、工具を提供するものとする。

4. 気候条件

この契約で供給される機器は熱帯の気候条件下で長期間運転するものとする。

5. 受注者が提出すべきブロック図と機器リスト 受注者はソーラーポンプシステムのブロック図と複数の機械的構成部品からなる機器リスト及びシステムの特性に影響を及ぼす構成品を選択し、そのリストを提出するものとする。

6. 受注者が提出すべき図面

受注者は、複数の機械的構成部品からなる機器及びシステムの特性に影響を及ぼす構成部品を選択し、それらの図面を機械出荷前に受注者の承認を得るため提出するものとする。機器が設置場所において組立や建設、基礎や電気、配管工事を必要とする場合は、受注者は発注者にその図面を提出するものとする。

7. 取扱説明書と部品構成表

受注者は発注者に4セットのサービスマニュアル、運転メンテナンスマニュアル、それぞれの機器の部品構成表を提出するものとする。マニュアル、構成表の言語は

英語とする。

8. 試験と検査

全ての機器は、出荷前に製造者の工場では試験、検査を実施し、契約書の規定に適合しなければならない。

9. ラベルと銘板

機器に貼付する義務表示、指示銘板や日本とドミニカ共和国の協力を表わす銘板は英語で表示するか発注者の指示に従う。

10. 梱包と荷却

機器とスペアパーツを梱包するものとする。これらの梱包は仕向地に到着するまで乱暴な扱い、風雨による腐食など海外における危険性を考慮して、保護を確実なものとしなければならない。

受注者は出荷に対し、不適当な処理や梱包による全ての損傷に対し責任を負う。

必要な所では重量物はまくら木の上に乗せねばならない。そのため吊鎖や吊金具を梱包に付けねばならない。全梱包についてアタッチメントが簡単に作れるよう工夫しなければならない。

さらに、梱包明細書、梱包内容を示すのを防水カバーに入れ、梱包の外側にしっかりと止めねばならない。

受注者は契約に関するすべての束、梱、ケース、コンテナに自己負担で印を付けるものとする。

全ての梱包の上に次のインフォメーションをはっきり文字印刷するものとする。

1. 陸揚げ港
2. 荷受人の名前と住所
3. 契約ナンバーと船荷証券ナンバー
4. 梱包数
5. 総重量と正味重量

6. 寸 法
7. 仕 向 地
8. 危険表示 (必要な場合)

11. 納 期

受注者は機器の納期に対し、及び仕事が完遂する前に取扱説明書と部品構成表を受注者に提出することに対し責任を負う。

12. メンテナンス保証

受注者は検収証明書の日付より12ヶ月間、機器の品質と機能を保証しなければならない。

13. 予 備 品

受注者は機器のCIF価格の10%に相当する予備品の見積りを提出するものとし、供給時にパーツナンバー種類、数量を示した製造者の推奨するパーツリストを提出するものとする。

14. アフターセールスサービス

購入、仕様書に規定されたアフターセールスサービスは、無償とする。

9 入札価格支訳書

項 目	Sierra Prieta	Tojin	La Majagua	計 (RDS)
1) 作 業 棟				
2) 脱粒乾燥場				
3) 育苗遮光舎				
4) 醗酵水槽				
5) 天日乾燥場				
6) 堆肥舎				
7) 焼却炉				
8) 貯水槽				
9) 周囲柵				
10) 正 門				
11) 農 道				
12) 水道工事 (江ノ乃功)	1) に含む			
13) 水源工事 (トヒリ)		1) に含む		
直接工事費 合 計				
諸 経 費				
工事費合計				

A-A-1 シェラ・プリエタ作業棟

	名 称	金 額 (RD\$)
A-1-1	共通仮設工事	一式
A-1-2	仮設工事	一式
A-1-3	土工事	一式
A-1-4	コンクリート工事	一式
A-1-5	鉄筋コンクリート工事	一式
A-1-6	鉄骨工事	一式
A-1-7	組積工事	一式
A-1-8	左官工事	一式
A-1-9	屋根工事	一式
A-1-10	建具工事	一式
A-1-11	塗装工事	一式
A-1-12	給排水設備工事	一式
A-1-13	電気設備工事	一式

小 計

A シエラ・プリエタ

A-1 作業棟 180m²

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額 (RD\$)
-----	-----	-----	-----	------------

A-1-1
共通仮設工事

仮設事務所・便所 20m ²	式	1		
仮 設 倉 庫	式	1		
仮設共同宿舍	式	1		
仮設電力工事	式	1		
交 通 費	式	1		

小 計

A-1-2
仮 設 工 事

遺 方	式	1		
清 掃	式	1		

小 計

A-1-3
土 工 事

根 切	m ³	62		
埋 戻 転 圧	m ³	72		
玉 石 地 業	m ³	25		

小 計

名 称	単 位	数 量	単 価	金額 (RD\$)
A-1-4 コンクリート工事				
ラップルコンクリート 600×600	m ³	28		
ラップルコンクリート 350×300	m ³	2		

小 計

A-1-5
鉄筋コンクリート工事 FC 180kg/cm²

コンクリート柱基礎 300×800×800	m ³	0.96		
鉄骨柱基礎 200×600×600	m ³	0.15		
柱 300×300 4-19φ	m ³	1.76		
床 6φ@200	m ³	25		
臥 梁 150×200	m	155		
梁 600×300	m ³	1.86		

小 計

A-1-6
鉄骨工事

鋼 材	QQ	145		
アンカー工事 D13	式	1		

小 計

名 称	単 位	数 量	単 価	金額 (R.D.\$)
-----	-----	-----	-----	-------------

A-1-7

組 積 工 事

CB. 15cm 目地仕上積	m ²	233		
----------------	----------------	-----	--	--

小 計

A-1-8

左 官 工 事

床モルタル	m ²	204		
開口部モルタル	m ²	64		
柱・梁・臥梁モルタル	式	1		

小 計

A-1-9

屋 根 工 事

石綿スレート 厚 5mm金物共	m ²	313		
棟 押	m	31		

小 計

名 称	単 位	数 量	単 価	金額 (RD\$)
A-1-10				
建 具 工 事				
木製ドア(松) 2,100 × 1,050	本	5		
枠・錠 共				
鋼製ドア 2-3,050 × 2.55	本	2		
錠 共				
アルミ製ルーバー	本	23		
鉄 格 子 (D10@ 150) 共				

小 計

A-1-11
塗 装 工 事

鉄部防錆塗料塗	式	1		
鉄部・木部オイルペンキ塗	式	1		
水性ペンキ	式	1		

小 計

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額 (R D \$)
A-1-12				
給排水設備工事				
樋工事 200φ / 2	m	48.8		
樋受金物・柱 4-2" × 2" × 1/8"	所	4		
" 鉄筋19φ ϕ = 1,500	所	50		
雨水タンク工事	式	1		
ディーゼル揚水ポンプ (SHP)	式	1		
圧力タンク				
便 器	所	1		
手 洗 器	所	1		
給排水管工事 PVC.	式	1		
腐 敗 槽 2m×2m×2.5m	所	2		
浸 透 槽 2mφ×4m	所	2		
手 押 ポンプ	台	1		
洗 い 場	所	1		
アスベストタンク工事 212ガロン	式	1		
<hr/>				
小 計				

A-1-13
電気設備工事

照 明 器 具 2-FL20W	所	11		
照 明 器 具 40W	所	1		
各器具・配線工事	式	1		
<hr/>				
小 計				
<hr/>				
合 計				

A-2 シエラ・プリエタ脱粒・乾燥場

	名 称	金 額 (RD\$)
A-2-1	仮 設 工 事	一式
A-2-2	土 工 事	一式
A-2-3	コンクリート工事	一式
A-2-4	鉄筋コンクリート工事	一式
A-2-5	鉄 骨 工 事	一式
A-2-6	組 積 工 事	一式
A-2-7	左 官 工 事	一式
A-2-8	屋 根 工 事	一式
A-2-9	建 具 工 事	一式
A-2-10	塗 装 工 事	一式
小 計		

A-2 脱粒乾燥場 72m²

名	称	单 位	数 量	单 価	金額 (R.D\$)
---	---	-----	-----	-----	------------

A-2-1
仮設工事

遣	方	式	1		
清	掃	式	1		

小 計

A-2-2
土工事

根	切	m ³	15		
埋戻	・転圧	m ³	43		
玉石	地業	m ³	8		

小 計

A-2-3
コンクリート工事

捨コンクリート	厚50	式	1		
ラップルコンクリート	600×500	m ³	13		

小 計

名 称	单 位	数 量	单 価	金 額 (RD\$)
A-2-4				
鉄筋コンクリート工事 F C 180kg/cm ³				
床コンクリート	m ³	8.4		
臥 梁	m	40		
コンクリート柱基礎	m ³	0.8		
300×800×800				
鉄骨柱基礎	m	0.1		
200×600×600				

小 計

A-2-5
鉄骨工事

鉄 骨 梁	QQ	6.2		
鉄骨柱 H2- 150×150×10	QQ	10.5		
鉄骨小屋組	QQ	40		
アンカー工事	式	1		

小 計

A-2-6
組積工事

C B. 15cm 目地仕上積	m ²	62		
-----------------	----------------	----	--	--

小 計

名 称	単 位	数 量	単 価	金額 (R D \$)
-----	-----	-----	-----	-------------

A-2-7
左 官 工 事

床モルタル	m ²	84		
開口部モルタル	m ²	19		
柱・梁・臥梁モルタル	式	1		

小 計

A-2-8
屋 根 工 事

石綿スレート 厚 5mm金物共	m ²	140		
棟 押	m	31		

小 計

A-2-9
建 具 工 事

アルミ製ルーバー 850× 600	所	8		
-------------------	---	---	--	--

小 計

名 称	単 位	数 量	単 価	金額 (RD\$)
A-2-10				
塗 装 工 事				
鉄部防錆塗料塗	式	1		
鉄部オイルペンキ塗	式	1		
壁部アクリルペンキ塗	式	1		
<hr/>				
小 計				
<hr/>				
合 計				

A-3 シエラ・プリエタ育苗遮光舎

	名	称	金額 (RD\$)
A-3-1	仮	設 工 事	一式
A-3-2	土	工 事	一式
A-3-3	コンクリート	工事	一式
A-3-4	鉄	骨 工 事	一式
A-3-5	屋	根 工 事	一式
A-3-6	網	工 事	一式
A-3-7	左	官 工 事	一式
A-3-8	建	具 工 事	一式
A-3-9	塗	装 工 事	一式
小 計			

A-3 育苗遮光舎 128m²

名 称	单 位	数 量	单 価	金 額 (R.D \$)
A-3-1 仮設工事				
遺 方	式	1		
清 掃	式	1		

小 計

A-3-2
土工事

根 切	450×400×400	所	15	
砂 利 敷		m ³	6.4	
埋戻・転圧		m ²	128	

小 計

A-3-3
コンクリート工事FC 180kg/cm²

基 礎		所	15	
-----	--	---	----	--

小 計

名 称	单 位	数 量	单 價	金 額 (R D \$)
A-3-4 鉄 骨 工 事				
鋼 材	Q Q	80		
小 計				
A-3-5 屋 根 工 事				
亜 鉛 鉄 板 #29 金物共	m ²	174		
小 計				
A-3-6 網 工 事				
六 角 金 網 #18	m ²	45		
小 計				
A-3-7 左 官 工 事				
基 礎 天 端	所	15		
小 計				

名 称	单 位	数 量	单 価	金 額 (R D \$)
-----	-----	-----	-----	--------------

A-3-8

建 具 工 事

鋼 製 扉 1,000× 2,000	本	2		
--------------------	---	---	--	--

小 計

A-3-9

塗 装 工 事

鉄部防錆塗料塗	式	1		
亜鉛鉄板防錆塗料塗	m ²	134		
鉄部オイルペンキ塗	式	1		
亜鉛鉄板オイルペンキ塗	m ²	134		

小 計

合 計

A-4 シエラ・プリエタ発酵水槽

	名	称	金額 (RD\$)
A-4	発酵水槽工事	一式	
小計			

A-5 シエラ・プリエタ天日乾燥場

	名	称	金額 (RD\$)
A-5	天日乾燥場工事	一式	
小計			

A-4 発酵水槽

名 称	単 位	数 量	単 価	金額 (R.D\$)
発酵水槽工事	式	1		
合 計				

A-5 天日乾燥場 200m²

名 称	単 位	数 量	単 価	金額 (R.D\$)
根 切	m ³	25		
コンクリートブロック工事	m ²	54		
コンクリート工事	m ³	20		
6φ@ 300タテヨコ				
モルタル塗 厚30	m ²	200		
合 計				

A-6 シエラ・プリエタ堆肥舎

	名 称	金額 (RD\$)
A-6-1	仮 設 工 事	一式
A-6-2	土 工 事	一式
A-6-3	コンクリート工事	一式
A-6-4	鉄筋コンクリート工事	一式
A-6-5	鉄 骨 工 事	一式
A-6-6	組 積 工 事	一式
A-6-7	左 官 工 事	一式
A-6-8	屋 根 工 事	一式
A-6-9	塗 装 工 事	一式
小 計		

A-6 堆肥舎 16m²

名	称	単 位	数 量	単 価	金額 (RD\$)
---	---	-----	-----	-----	-----------

A-6-1

仮設工事

遣	方	式	1		
清	掃	式	1		

小 計

A-6-2

土工事

根	切	m ³	5.1		
埋	戻・転	m ³	0.24		
玉	石地	m ³	5.2		

小 計

A-6-3

コンクリート工事FC 180kg/cm²

ラ	ップル	コン	クリート	200×300	m ³	0.72
捨	コン	クリート	厚50		式	1
根	巻	コン	クリート		m ³	0.24

小 計

名 称	単 位	数 屋	単 価	金額 (RDS)
-----	-----	-----	-----	----------

A-6-4

鉄筋コンクリート工事 FC 180kg/cm²

柱基礎 600×600×200	m ³	0.3		
床コンクリート	m ³	1.64		
臥 梁 1-D13	m ³	1.2		

小 計

A-6-5

鉄骨工事

鋼 材	QQ	13		
アンカー工事	式	1		

小 計

A-6-6

組積工事

CB. 15cm D10@800	m ²	42		
------------------	----------------	----	--	--

小 計

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額 (R D \$)
A-6-7 左 官 工 事				
床モルタル 厚30	m ²	20		
壁モルタル 厚30	m ²	25.2		
<hr/>				
小 計				
A-6-8 屋 根 工 事				
石綿スレート 厚 5mm金物共	m ²	40		
<hr/>				
小 計				
A-6-9 塗 装 工 事				
鉄部防錆塗料塗	式	1		
鉄部オイルペンキ塗	式	1		
<hr/>				
小 計				
<hr/>				
合 計				

A-7 燒 却 炉

名	称	金 額 (RD\$)
A-7	燒 却 炉 工 事	一 式
小 計		

A-8 貯 水 槽 (一般)

名	称	金 額 (RD\$)
A-8	貯 水 槽 工 事	一 式
小 計		

A-7 燒却炉

名 称	单 位	数 量	单 價	金額 (RD\$)
燒 却 炉	式	1		
合 計				

A-8 貯水槽 (一般)

名 称	单 位	数 量	单 價	金額 (RD\$)
貯 水 槽 工 事	式	1		
合 計				

A-9 周圍棚

名 称		金額 (RD\$)
A-9	周圍棚工事 一式	
小 計		

A-10 正 門

名 称		金額 (RD\$)
A-10	正門工事 一式	
小 計		

A-11 農 道

名 称	数量	单位	金額 (RD\$)
小 計			
合 計			

A-9 周圍柵 1,023m

名 称	单 位	数 量	单 価	金額 (RD\$)
根 切	所	134		
コンクリート柱	本	134		
有 刺 鉄 線 #12 1/2	卷	41		
生木ピニョンクバーノ	本	266		
根巻コンクリート	所	134		
150×300×300				
植 込 手 間	m	1,023		
隅部・端部補強	式	1		

合 計

A-10 正 門

名 称	单 位	数 量	单 価	金額 (RD\$)
正 門 工 事	式	1		

合 計

A-11 農 道 90m

名 称	单 位	数 量	单 价	金 額 (R D \$)
遣 方	m	90		
除 草 · 整 地	m ²	360		
砂 利 敷 厚 100	m ³	36		
転 压	m ²	360		
側 溝 掘 300×300	m ³	17		
<hr/>				
合 計				

B-1 トヒン作業棟

	名 称	金額 (RD\$)
B-1-1	共通仮設工事	一式
B-1-2	仮設工事	一式
B-1-3	土工事	一式
B-1-4	コンクリート工事	一式
B-1-5	鉄筋コンクリート工事	一式
B-1-6	鉄骨工事	一式
B-1-7	組積工事	一式
B-1-8	左官工事	一式
B-1-9	屋根工事	一式
B-1-10	建具工事	一式
B-1-11	塗装工事	一式
B-1-12	給排水設備工事	一式
B-1-13	電気設備工事	一式

小 計

B トビン

B-1 作業棟 180m²

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額 (R D \$)
B-1-1 共通仮設工事				
仮設事務所・便所 20m ²	式	1		
仮 設 倉 庫	式	1		
仮設共同宿舎	式	1		
仮設用水工事	式	1		
仮設電力工事	式	1		
交 通 費	式	1		

小 計

B-1-2

仮設工事

遣 方	式	1		
清 掃	式	1		

小 計

B-1-3

土工事

根 切	m ³	62		
埋 戻 ・ 転 圧	m ³	72		
玉 石 地 業	m ³	25		

小 計

名	称	単	位	数	量	単	価	金額 (RD\$)
B-1-4								
コンクリート工事								
ラップル	コンクリート	600×600	m ³	28				
ラップル	コンクリート	350×300	m ³	2				

小 計

B-1-5
鉄筋コンクリート工事 F C 180kg/cm²

コンクリート	柱基礎	300×800×800	m ³	0.96				
鉄骨	柱基礎	200×600×600	m ³	0.15				
柱		300×300 4-19φ	m ³	1.76				
床		6φ@200	m ³	25				
臥	梁	150×200	m	155				
梁		600×300	m ³	1.86				

小 計

B-1-6
鉄骨工事

鋼	材		QQ	145				
アンカー	工事	D13	式	1				

小 計

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額 (R D \$)
-----	-----	-----	-----	--------------

B-1-7
組 積 工 事

C.B. 15cm 目地仕上積	m ²	233		
-----------------	----------------	-----	--	--

小 計

B-1-8
左 官 工 事

床モルタル	m ²	204		
開口部モルタル	m ²	64		
柱・梁・臥梁モルタル	式	1		

小 計

B-1-9
屋 根 工 事

石綿スレート 厚 5mm金物共	m ²	313		
棟 押	m	31		

小 計

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額 (R D \$)
B-1-10				
建 具 工 事				
木製ドア (松) 2,100 × 1,050 枠・錠共	本	5		
鋼製ドア 2-3,050 × 2.55 錠 共	本	2		
アルミ製ルーバー 鉄 格 子 (D 10 @ 150) 共	本	23		

小 計

B-1-11
塗 装 工 事

鉄部防錆塗料塗	式	1		
鉄部・木部オイルペンキ塗	式	1		
水性ペンキ	式	1		

小 計

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額 (R D \$)
B-1-12				
給排水設備工事				
樋 工 事 200φ / 2	m		48.8	
樋受金物・柱 4-2" × 2" × 1/8"	所	4		
” ・鉄筋19φ cm = 1,500	所	50		
雨水タンク工事	式	1		
ディーゼル揚水ポンプ	式	1		
・圧力タンク(5HP)				
便 器	所	1		
手 洗 器	所	1		
ポンプ小屋	m	12		
取水堰工事				
ラップルコンクリート 5m ³	式	1		
砂利 1m ³				
1次給水管工事 50φ亜鉛管	式	1		
2次給排水管工事 PVC.	式	1		
腐 敗 槽 2m×2m×2.5m	所	2		
浸 透 槽 2mφ×4m	所	2		
手 押 ポンプ	台	1		
アスベストタンク工事 212ガロン	台	1		
洗 い 場	所	1		

小 計

名 称	单 位	数 量	单 价	金 額 (RD\$)
-----	-----	-----	-----	------------

B-1-13
 電気設備工事

照 明 器 具 2-F L20W	所	11		
照 明 器 具 40W	所	1		
各器具・配線工事	式	1		

小 計

合 計

B-2 トヒン脱粒・乾燥場

	名	称	金額 (RD\$)
B-2-1	仮	設 工 事	一式
B-2-2	土	工 事	一式
B-2-3	コン	クリート工事	一式
B-2-4	鉄	筋コンクリート工事	一式
B-2-5	鉄	骨 工 事	一式
B-2-6	組	積 工 事	一式
B-2-7	左	官 工 事	一式
B-2-8	屋	根 工 事	一式
B-2-9	建	具 工 事	一式
B-2-10	塗	装 工 事	一式

小 計

B-2 脱粒乾燥場 72m²

名 称	単 位	数 量	単 価	金額 (R.D\$)
B-2-1 仮設工事				
遣	方	式	1	
清	掃	式	1	
<hr/>				
小 計				
B-2-2 土工事				
根 切		m ³	15	
埋 戻 ・ 転 圧		m ³	43	
玉 石 地 業		m ³	8	
<hr/>				
小 計				
B-2-3 コンクリート工事				
捨コンクリート 厚50		式	1	
ラップルコンクリート 600×500		m ³	13	
<hr/>				
小 計				

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額 (R D \$)
-----	-----	-----	-----	--------------

B-2-4

鉄筋コンクリート工事 FC 180kg/cm²

床コンクリート	m ³	8.4		
---------	----------------	-----	--	--

臥梁	m	40		
----	---	----	--	--

コンクリート柱基礎	m ³	0.8		
-----------	----------------	-----	--	--

300×800×800

鉄骨柱基礎	m	0.1		
-------	---	-----	--	--

200×600×600

小 計

B-2-5

鉄骨工事

鉄骨梁	QQ	6.2		
-----	----	-----	--	--

鉄骨柱 H 2-150×150×10	QQ	10.5		
--------------------	----	------	--	--

鉄骨小屋組	QQ	40		
-------	----	----	--	--

アンカー工事	式	1		
--------	---	---	--	--

小 計

B-2-6

組積工事

CB. 15cm 目地仕上積	m ²	62		
----------------	----------------	----	--	--

小 計

名 称	単 位	数 量	単 価	金額 (R D \$)
-----	-----	-----	-----	-------------

B-2-7

左 官 工 事

床モルタル	m ²	84		
開口部モルタル	m ²	19		
柱・梁・臥梁モルタル				

小 計

B-2-8

屋 根 工 事

石綿スレート 厚 5mm金物共	m ²	140		
棟 押	m	31		

小 計

B-2-9

建 具 工 事

アルミ製ルーバー 850×600	所	8		
------------------	---	---	--	--

小 計

名 称	单 位	数 量	单 価	金 額 (RD\$)
B-2-10				
塗 装 工 事				
鉄部防錆塗料塗	式	1		
鉄部オイルペンキ塗	式	1		
壁部アクリルペンキ塗	式	1		
<hr/>				
小 計				
<hr/>				
合 計				

B トヒン

B-3 育苗遮光舎 320m²

名	称	単 位	数 量	単 価	金額 (R D \$)
B-3-1					
仮設工事					
遺	方	式	1		
清	掃	式	1		
<hr/>					
小		計			

B-3-2

土工事

根	切	450×400×400	所	30	
砂	利		m ³	32	
敷	込・転		m ²	320	
<hr/>					
小		計			

B-3-3

コンクリート工事FC 180kg/cm²

基	礎		所	30	
<hr/>					
小		計			

名 称	单 位	数 量	单 価	金 額 (R D \$)
-----	-----	-----	-----	--------------

B-3-4
鉄骨工事

鋼材	QQ	107		
----	----	-----	--	--

小 計

B-3-5
左官工事

基礎天端モルタル	所	30		
----------	---	----	--	--

小 計

B-3-6
屋根工事

波形亜鉛鉄板 #29 金物共	m ²	174		
----------------	----------------	-----	--	--

小 計

B-3-7
網工事

六角金網 #18	m ²	68		
寒冷沙取付 (番線)	m ²	192		

小 計

名 称	单 位	数 量	单 価	金 額 (R D \$)
B-3-8				
建 具 工 事				
鋼 製 開 戸	1,000× 2,000	本	2	

小 計

B-3-9
塗 装 工 事

鉄部防錆塗料塗	式	1		
亜鉛鉄板防錆塗料塗	m ³	134		
鉄部オイルペンキ塗	式	1		
亜鉛鉄板オイルペンキ塗	m ²	134		

小 計

合 計

B-4 トヒン発酵水槽

	名	称	金 額 (RD\$)
B-4	発酵水槽工事	一式	

小 計

B-5 トヒン天日乾燥場

	名	称	金 額 (RD\$)
B-5	天日乾燥場工事	一式	

小 計

B-4 発酵水槽

名 称	単 位	数 量	単 価	金額 (RD\$)
発酵水槽工事	式	1		
合 計				

B-5 天日乾燥場 200m²

名 称	単 位	数 量	単 価	金額 (RD\$)
根 切	m ³	25		
コンクリートブロック工事	m ²	54		
コンクリート工事	m ³	20		
6φ@ 300タテヨコ				
モルタル塗 厚30	m ²	200		
合 計				

B-6 トヒン堆肥舎

	名 称	数 量	单 位	金額 (RD\$)
B-6-1	仮 設 工 事		一式	
B-6-2	土 工 事		一式	
B-6-3	コンクリート工事		一式	
B-6-4	鉄筋コンクリート工事		一式	
B-6-5	鉄 骨 工 事		一式	
B-6-6	組 積 工 事		一式	
B-6-7	左 官 工 事		一式	
B-6-8	屋 根 工 事		一式	
B-6-9	塗 装 工 事		一式	

小 計

B-6 堆肥舎 16m²

名 称	単 位	数 量	単 価	金額 (RD\$)
B-6-1				
仮設工事				

遣	方	式	1	
清	掃	式	1	

小 計

B-6-2
土工事

根 切		m ³	5.1	
埋 戻 ・ 転 圧		m ³	0.24	
玉 石 地 業		m ³	5.2	

小 計

B-6-3
コンクリート工事FC 180kg/cm²

ラップルコンクリート 200×300		m ³	0.72	
捨コンクリート 厚50		式	1	
根巻コンクリート		m ³	0.24	

小 計

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額 (R D \$)
-----	-----	-----	-----	--------------

B-6-4

鉄筋コンクリート工事FC 180kg/cm²

柱基礎 600×600×200	m ³	0.1		
床コンクリート	m ³	1.64		
臥 梁 1-D13	m ³	1.2		

小 計

B-6-5

鉄骨工事

鋼 材	QQ	13		
アンカー工事	式	1		

小 計

B-6-6

組積工事

CB. 15cm D10@800	m ²	42		
------------------	----------------	----	--	--

小 計

名 称	单 位	数 量	单 価	金 額 (R D \$)
-----	-----	-----	-----	--------------

B-6-7
左 官 工 事

床モルタル 厚30	m ²	20		
壁モルタル 厚30	m ²	25.2		

小 計

B-6-8
屋 根 工 事

石綿スレート 厚 5mm金物共	m ²	40		
-----------------	----------------	----	--	--

小 計

B-6-9
塗 装 工 事

鉄部防錆塗料塗	式	1		
鉄部オイルペンキ塗	式	1		

小 計

合 計

B-7 燒却伊

	名 称	金 額 (RD\$)
B-7	燒却伊工事 一式	

小 計

B-8 貯水槽(一般)

	名 称	金 額 (RD\$)
B-8	貯水槽工事 一式	

小 計

B-7 燒却炉

名 称	单 位	数 量	单 价	金 額 (RD\$)
燒 却 炉		1		
合 計				

B-8 貯水槽 (一般)

名 称	单 位	数 量	单 价	金 額 (RD\$)
貯 水 槽 工 事	式	1		
合 計				

B-9 周圍柵

名	称	金額 (RD\$)
B-9	周圍柵工事 一式	

小 計

B-10 正 門

名	称	金額 (RD\$)
B-10	正門工事 一式	

小 計

B-11 農 道

名	称	金額 (RD\$)
B-11	農道工	

小 計

合 計

B-9 周 圍 柵 660m

名 称	单 位	数 量	单 価	金 額 (RD\$)
根 切	所	87		
コンクリート柱	本	87		
有 刺 鉄 線 #12 1/2	本	27		
生木ピニョンクバーノ	本	172		
根巻コンクリート	所	87		
植 込 手 間	m	660		
隅部・端部補強	式	1		

合 計

B-10 正 門

名 称	单 位	数 量	单 価	金 額 (RD\$)
正 門 工 事	式	1		

合 計

B-11 農 道 180m

名 称	单 位	数 量	单 價	金 額 (RDS)
遣 方	m	180		
除 草 · 整 地	m ²	720		
砂 利 敷 厚 100	m ³	72		
転 圧	m ²	720		
側 溝 掘 300×300	m ³	34		
<hr/>				
合 計				

C-1 ラ・マハグア作業棟

	名	称	金額(RD\$)
C-1-1	共通仮設工事	一式	
C-1-2	仮設工事	一式	
C-1-3	土工事	一式	
C-1-4	コンクリート工事	一式	
C-1-5	鉄筋コンクリート工事	一式	
C-1-6	鉄骨工事	一式	
C-1-7	組積工事	一式	
C-1-8	左官工事	一式	
C-1-9	屋根工事	一式	
C-1-10	建具工事	一式	
C-1-11	塗装工事	一式	
C-1-12	給排水設備工事	一式	
C-1-13	電気設備工事	一式	

小 計

C ラ・マハグア
 C-1 作業棟 180m²

名 称	单 位	数 量	单 価	金 額 (RD\$)
C-1-1 共通仮設工事				
仮設事務所・便所	20m ²	式	1	
仮設倉庫		式	1	
仮設共同宿舍		式	1	
仮設用水工事		式	1	
仮設電力工事		式	1	
交 通 費		式	1	

小 計

C-1-2
 仮設工事

遺 方		式	1	
清 掃		式	1	

小 計

C-1-3
 土 工 事

根 切		m ³	62	
埋 戻 土		m ³	72	
玉 石 地 業		m ³	25	

小 計

名	称	単	位	数	量	単	価	金	額 (RD\$)
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----------

C-1-4

コンクリート工事

ラップルコンクリート	600×600	m ³	28
ラップルコンクリート	350×300	m ³	2

小 計

C-1-5

鉄筋コンクリート工事 FC 180kg/cm²

コンクリート柱基礎	300×800×800	m ³	0.96
鉄骨柱基礎	200×600×600	m ³	0.15
柱	300×300 4-19φ	m ³	1.76
床	6φ@200	m ³	25
臥 梁	150×200	m	155
梁	600×300	m ³	1.86

小 計

C-1-6

鉄骨工事

鋼 材	QQ	145
アンカー工事	D13 式	1

小 計

名 称	单 位	数 量	单 価	金 額 (R D \$)
-----	-----	-----	-----	----------------

C-1-7

組積工事

CB、15cm 目地仕上積	m ²	233		
---------------	----------------	-----	--	--

小 計

C-1-8

左官工事

床モルタル	m ²	204		
開口部モルタル	m ²	64		
柱・梁・臥梁モルタル	式	1		

小 計

C-1-9

屋根工事

石綿スレート 厚 5mm金物共	m ²	313		
棟 押	m	31		

小 計

名 称	単 位	数 量	単 価	金額 (R D \$)
-----	-----	-----	-----	-------------

C-1-10

建 具 工 事

木製ドア (松) 2,100 × 1,050	本	5		
枠・錠共				
鋼製ドア 2-3,050 × 2.55	本	2		
錠 共				
アルミ製ルーバー	本	23		
鉄 格 子 (D10@ 150) 共				

小 計

C-1-11

塗 装 工 事

鉄部防錆塗料塗	式	1		
鉄部・木部オイルペンキ塗	式	1		
水性ペンキ	式	1		

小 計

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額 (R D \$)
C-1-12				
給排水設備工事				
樋 工 事 200φ/2	m	48.8		
樋受金物・柱 4-2" × 2" × 1/8"	所	4		
〃 ・鉄筋19φ \varnothing = 1,500	所	4		
雨水タンク工事	式	1		
便 器	所	1		
手 洗 器	所	1		
ポンプ小屋	m ²	12		
給排水管工事 PVC.	式	1		
腐 敗 槽 2m×2m×2.5m	所	2		
浸 透 槽 2mφ×4m	所	2		
手 押 ポ ン プ	台	1		
1次給排水管工事50φ亜鉛管	式	1		
アスベストタンク工事 212ガロン	式	1		
洗 い 場	所	1		
<hr/>				
小 計				

名 称	单 位	数 量	单 价	金 額 (R D \$)
-----	-----	-----	-----	--------------

C-1-13
電氣設備工事

照 明 器 具 2-FL20W	所	11		
照 明 器 具 40W	所	1		
各器具・配線工事	式	1		

小 計

合 計

C-2 ラ・マハグア脱粒・乾燥場

	名	称	金額 (RD\$)
C-2-1	仮	設 工 事	一式
C-2-2	土	工 事	一式
C-2-3	コンクリート	工事	一式
C-2-4	鉄筋コンクリート	工事	一式
C-2-5	鉄	骨 工 事	一式
C-2-6	組	積 工 事	一式
C-2-7	左	官 工 事	一式
C-2-8	屋	根 工 事	一式
C-2-9	建	具 工 事	一式
C-2-10	塗	装 工 事	一式

小 計

C-2 脱粒乾燥場 72m²

名 称	単 位	数 量	単 価	金額 (RD\$)
C-2-1				
仮設工事				
遺 方	式	1		
清 掃	式	1		
<hr/>				
小 計				
C-2-2				
土工事				
根 切	m ³	15		
埋 戻・転 圧	m ³	43		
玉 石 地 業	m ³	8		
<hr/>				
小 計				
C-2-3				
コンクリート工事				
捨コンクリート 厚50	式	1		
ラップルコンクリート 600×500	m ³	13		
<hr/>				
小 計				

名	称	单 位	数 量	单 価	金 額 (RD\$)
---	---	-----	-----	-----	------------

C-2-4

鉄筋コンクリート工事 F C 180kg/cm²

床コンクリート	m ³	8.4
臥 梁	m	40
コンクリート柱基礎	m ³	0.8
300×800×800		
鉄骨柱基礎	m	0.1
200×600×600		

小 計

C-2-5

鉄骨工事

鉄 骨 梁	QQ	6.2
鉄骨柱 H 2-150×150×10	QQ	10.5
鉄骨小屋組	QQ	40
アンカー工事	式	1

小 計

C-2-6

組積工事

CB. 15cm 目地仕上積	m ²	62
----------------	----------------	----

小 計

名 称	単 位	数 量	単 価	金額 (R D \$)
-----	-----	-----	-----	-------------

C-2-7

左 官 工 事

床モルタル	m ²	84		
開口部モルタル	m ²	19		
柱・梁・臥梁モルタル	式	1		

小 計

C-2-8

屋 根 工 事

石綿スレート 厚 5mm金物共	m ²	140		
棟 押	m	31		

小 計

C-2-9

建 具 工 事

アルミ製ルーバー 850× 600	所	8		
-------------------	---	---	--	--

小 計

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額 (R D \$)
C-2-10				
塗 装 工 事				
鉄部防錆塗料塗	式	1		
鉄部オイルペンキ塗	式	1		
壁部アクリルペンキ塗	式	1		
<hr/>				
小	計			
<hr/>				
合	計			

C ラ・マハグア
 C-3 育苗遮光舎 320m²

名	称	単 位	数 量	単 価	金額 (R.D.\$)
C-3-1 仮設工事					
遣	方	式	1		
清	掃	式	1		

小 計

C-3-2
土工事

根 切	450×400×400	所	30		
砂 利		m ³	32		
敷込・転圧		m ²	320		

小 計

C-3-3
コンクリート工事FC 180kg/cm²

基 礎		所	30		
-----	--	---	----	--	--

小 計

名 称	单 位	数 量	单 価	金 額 (R D \$)
-----	-----	-----	-----	--------------

C-3-4
鉄骨工事

鋼材	QQ	107		
----	----	-----	--	--

小 計

C-3-5
左官工事

基礎天端モルタル	所	30		
----------	---	----	--	--

小 計

C-3-6
屋根工事

波形亜鉛鉄板 #29 金物共	m ²	174		
----------------	----------------	-----	--	--

小 計

C-3-7
網工事

六角金網 #18	m ²	68		
寒冷沙取付 (番線)	m ²	192		

小 計

名 称	单 位	数 量	单 価	金額 (RD\$)
-----	-----	-----	-----	-----------

C-3-8
建 具 工 事

鋼 製 開 戸	1,000× 2,000	本	2	
---------	--------------	---	---	--

小 計

C-3-9
塗 装 工 事

鉄部防錆塗料塗		式	1	
鉄部オイルペンキ塗		式	1	
亜鉛鉄板防錆塗料塗		m ²	134	
亜鉛鉄板オイルペンキ塗		m ²	134	

小 計

4,652

合 計

89,230

(1,784,600円)

C-4 ラ・マハグア発酵水槽

	名	称	金 額 (RD\$)
C-4	発酵水槽工事	一式	

小 計

C-5 ラ・マハグア天日乾燥場

	名	称	金 額 (RD\$)
C-5	天日乾燥場工事	一式	

小 計

C-4 発酵水槽

名 称	単 位	数 量	単 価	金額 (RD\$)
発酵水槽工事	式	1		
合 計				

C-5 天日乾燥場 200m²

名 称	単 位	数 量	単 価	金額 (RD\$)
根 切	m ³	25		
コンクリートブロック工事	m ²	54		
コンクリート工事	m ³	20		
6φ@300タテヨコ				
モルタル塗 厚30	m ²	200		
合 計				

C-6 ラ・マハグア堆肥舎

	名 称	金額 (RD\$)
C-6-1	仮設工事	一式
C-6-2	土工事	一式
C-6-3	コンクリート工事	一式
C-6-4	鉄筋コンクリート工事	一式
C-6-5	鉄骨工事	一式
C-6-6	組積工事	一式
C-6-7	左官工事	一式
C-6-8	屋根工事	一式
C-6-9	塗装工事	一式
	小 計	

C-6 堆肥舎 16m²

名	称	単 位	数 量	単 価	金額 (RD\$)
C-6-1					
仮設工事					
遣	方	式	1		
清	掃	式	1		

小 計

C-6-2

土工事

根	切	m ³	5.1		
埋	戻・転	m ³	0.24		
玉	石地	m ³	5.2		

小 計

C-6-3

コンクリート工事FC 180kg/cm²

ラップル	コンクリート	200×300	m ³	0.72	
捨	コンクリート	厚50	式	1	
根	巻	コンクリート	m ³	0.24	

小 計

名 称 単 位 数 量 単 価 金 額 (R D S)

C-6-4

鉄筋コンクリート工事FC 180kg/cm²

柱 基 礎 600×600×200	m ³	0.3
床コンクリート	m ³	1.64
臥 梁 1-D13	m ³	1.2

小 計

C-6-5

鉄 骨 工 事

鋼 材	QQ	13
アンカー工事	式	1

小 計

C-6-6

組 積 工 事

CB. 15cm D10@ 800	m ²	42
-------------------	----------------	----

小 計

名 称	単 位	数 量	単 価	金額 (R D \$)
C-6-7 左 官 工 事				
床モルタル 厚30	m ²	20		
壁モルタル 厚30	m ²	25.2		
<hr/>				
小 計				
C-6-8 屋 根 工 事				
石綿スレート 厚 5mm金物共	m ²	40		
<hr/>				
小 計				
C-6-9 塗 装 工 事				
鉄部防錆塗料塗	式	1		
鉄部オイルペンキ塗	式	1		
<hr/>				
小 計				
<hr/>				
合 計				

C-7 燒却炉

	名 称	金 額 (RD\$)
C-7	燒却炉工事 一式	
小 計		

C-8 貯水槽(一般)

	名 称	金 額 (RD\$)
C-8	貯水槽工事 一式	
小 計		

C-7 燒却炉

名 称	单 位	数 量	单 价	金 額 (RD\$)
燒 却 炉	式	1		
合 計				

B-8 貯水槽 (一般)

名 称	单 位	数 量	单 价	金 額 (RD\$)
貯 水 槽 工 事	式	1		
合 計				

C-9 周圍柵

	名 稱	金 額 (RD\$)
C-9	周圍柵工事 一式	

小 計

C-10 正 門

	名 稱	金 額 (RD\$)
C-10	正 門 工 事 一式	

小 計

C-11 農 道

	名 稱	金 額 (RD\$)
C-11	農 道 工	

小 計

合 計

C-9 周 囲 柵 989m

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額 (RD\$)
根 切	所	130		
コンクリート柱	本	130		
有刺鉄線 #12 1/2	本	40		
生木ピニョクバーノ	本	260		
根巻コンクリート	所	130		
植 込 手 間	m	989		
隅部・端部補強	式	1		

合 計

C-10 正 門

名 称	単 位	数 量	単 価	金 額 (RD\$)
正 門 工 事 1.5m × 4m	式	1		

合 計

C-11 農 道 200 m

名 称	单 位	数 量	单 价	金 額 (RDS)
道 方	m	200		
除 草 · 整 地	m ²	360		
砂 利 敷 厚 100	m ³	36		
転 压	m ²	360		
側 溝 掘 300×300	m ³	17		
合 計				

第8章 附属書類

- 8-1 調査団員リスト
- 8-2 調査期間及び日程
- 8-3 面会者リスト
- 8-4 団 長 レ タ ー

第8章 附属書類

8-1 調査団員リスト

氏名	担当業務	所属先・役職
大石 純夫	総括	農林水産省東北農政局入戸平原開拓建設事業所長
草野 孝久	業務調整	国際協力事業団農業開発協力部畜産開発課
白石 健次	施工計画	㈱パシフィックコンサルタンツインターナショナル顧問
鈴木 修	施設設計	㈱パシフィックコンサルタンツインターナショナル コンサルティング事業本部

8-2 調査期間及び日程

月/日	曜	行程	調査内容	宿泊地
1/10	火	サントドミンゴ		サントドミンゴ
1/11	水		JICA挨拶、IAD 長官挨拶、農業大臣挨拶	〃
1/12	木		IAD にて会議	〃
1/13	金		Sierra prieta 地区踏査	サンフランシスコ デマヌリス
1/14	土		AGLPO 事業調査 La Majagua 地区踏査	サマナ
1/15	日		シバオオリエンタル北部視察	サンチャゴ
1/16	月		カカオ試験場農業省次官来る Tojin 地区踏査	サントドミンゴ
1/17	火		内部打合調整	〃
1/18	水		内部打合調整、現地に依頼測量伐採開始 (La Majagua)	〃
1/19	木		JICA事務所にて総合打合せ	〃
1/20	金		大使館表敬訪問 趣旨説明	〃
1/21	土		官ベース帰国、現地調査及び測量	ナグア
1/22	日		現地調査測量(La Majagua)	〃
1/23	月		現地調査測量 (Tojin)	〃
1/24	火		現地調査測量	〃
1/25	水		現地調査測量、日帰りにてサントドミンゴに行き 専門家及びJICA所長に調査状況報告	〃
1/26	木		現地調査測量(Sierra prieta)	サントドミンゴ
1/27	金		現地調査測量	〃
1/28	土		現地調査測量	〃
1/29	日		現地調査測量	〃
1/30	月		現地調査測量	〃
1/31	火		一部現地調査測量、一部は水質分析等	〃

月/日	曜	行程	調査内容	宿泊地
2/1	水		報告書取りまとめ、設計製図	サントドミンゴ
2/2	木		報告書取りまとめ、設計製図 資料収集(下区経済資料)	〃
2/3	金		報告書取りまとめ、設計製図 建設業者調査表配布	〃
2/4	土		報告書取りまとめ、設計製図	〃
2/5	日		報告書取りまとめ、設計製図	〃
2/6	月		報告書取りまとめ、設計製図	〃
2/7	火		JICA所長とソーラーポンプ打合せ	〃
2/8	水		Sierra prieta にて岩石調査	〃
2/9	木		IAD に連絡に行く、報告書取りまとめ、設計製図	〃
2/10	金		IAD にて吉田専門家と打合せ	〃
2/11	土		報告書取りまとめ、設計製図	〃
2/12	日		報告書取りまとめ、設計製図	〃
2/13	月		JICAにて所長及び専門家と打合せ	〃
2/14	火		報告書取りまとめ、設計製図	〃
2/15	水		JICAにて所長及び専門家と最後の打合せ	〃
2/16	木		報告書取りまとめ、設計製図	〃
2/17	金		建設業者との面談	〃
2/18	土		報告書取まとめ設計製図、ラ・マハグア排水調査	〃
2/19	日		報告書取まとめ設計製図、ラ・マハグア排水調査	〃
2/20	月		帰国準備 荷造り挨拶等	〃
2/21	火	サントドミンゴ		ニューヨーク
2/22	水	ニューヨーク		
2/23	木			東京

8-3 面会者リスト(1)

農 地 庁

長 官	:	Ing. Agron.	Antonio Ml. Camilo Camilo
副 長 官	:	Ing. Agron.	Manuel Fermin Diolone
プロジェクト担当	:	Ing. Agron.	Victor Manuel Alifonso
カウンターパート	:		Fausto Jose Rodriguez
カウンターパート	:		Juan de Jesus Reyes
シエラプリエタ担当事務所職員	:	Agron.	Gerardo de los Santos
トヒン担当事務所 所長	:	Ing. Agron.	Jose A : Oviedo Mateo
〃 職員	:	Agron.	Eligio A. Castanos L.
ラ・マハグア担当事務所 所長	:	Ing. Agron.	Nelson Estrella
		Lic.	Luz Adelma Guillen
		Ing. Agron.	Leonel Guerrero
		Ing. Agron.	Jose F. Dominguez

農 業 省

大 臣	:	Ing. Agron.	Manuel de Jesus Vinas Caceres
副 大 臣	:	Agron.	Francisco Brito Bloise
プロジェクト担当	:	Ing. Agron.	Milton Morales
調査局長	:	Ing. Agron.	Socratez Metz
		Dr.	Mario Jose Savinon
カカオ試験場 場長	:	Ing. Agron.	Juana Adalgisa Ramires
カウンターパート	:	Ing. Agron.	Sergio A. Javier A.
〃	:	Ing. Agron.	Juan Rosario
〃	:	Ing. Agron.	Ismael Mota
〃	:	Agron.	Geraro A. Reynosn
電力公団局長	:	Ing.	Hracio Perez

面会者リスト(2)

在ドミニカ日本大使館

榎本 助太郎	大使
倉田 亮一	参事官
中島 久宜	書記官
幸福 辰巳	館員

JICAドミニカ事務所

大沢 尚正	所長
岸 忠士	副所長

胡椒開発計画専門家チーム

吉田 貞吉	専門家リーダー
早坂 猛	専門家
石塚 幸寿	専門家・調整員
馬 越 榮	専門家

農地庁長官 殿

1989年 1月19日

ドミニカ胡椒開発計画パイロット・インフラ整備事業実施設計調査結果について

件 名： パイロット・インフラ整備事業によるドミニカ胡椒開発計画
展示農場整備実施設計調査結果について

本調査団は、「ドミニカ共和国胡椒開発計画」R/D（署名：1987年 7月 7日）の第IV項に基づき、パイロット・インフラ整備事業に関する調査を行うために派遣されたものであります。

本調査団は、1989年 1月10日以来ドミニカ共和国内に於いて、農地方・農業省関係者及び日本人専門家等との協議並びに候補地での現場調査を行ってきました。ついては、これまでの調査の結果をもとに、基本的事項を別添「Repotre Sumaria」のとおりまとめたのでここに提出します。

本調査団のうち、団員2名（農業土木担当）は残留し、本事業実施候補地での更なる現場調査を行った後、別添「Repotre Sumaria」に基づき詳細設計と経費見積り書を作成致します。

最後に、私共は農地庁職員をはじめとするドミニカ共和国側関係者が、本調査団に対して熱心に協力してくれていることについて、感謝の意を表明します。また、ドミニカ共和国と日本との協力及び友好が増々盛んになることを祈念致します。

サント・ドミンゴにて

大石 純夫

団 長

J I C A

「ドミニカ胡椒開発計画」

パイロット・インフラ整備事業

実施設計調査団

(別 添)

「Repotre Sumaria (概要報告書)」

1. 本整備事業の目的

「胡椒開発計画」は、胡椒栽培に関する技術開発及び農民に対する栽培技術の展示等を通じ、ドミニカ共和国の農業開発に貢献することを目的として、昭和62年7月7日にR/Dが署名され、5ヶ年間の協力が開始された。昭和62年度には、モデル・インフラ整備事業が実施され、技術開発の拠点である農業省 CENDETECAの育苗増殖施設等が整備され、長期・短期の専門家による技術協力が推進されている。今後は、こうして開発された技術を各地の「展示農場」に於いて農民レベルでの展示栽培を行うこととしている。しかし、そのためには既存の「展示農場」の各種施設を整備する必要がある。

本パイロット・インフラ整備事業は、以下の機能を持った「展示農場」を整備することを目的とする。

- (1) CENDETECAに於いて開発された胡椒栽培技術を展示する。
- (2) 胡椒母樹園を形成し、胡椒健全苗を増殖する。
- (3) 各地域に適した胡椒農場の経営方法について展示する。

2. 整備対象「展示農場」

本調査団は、ドミニカ共和国農地庁が選定したSiera Prieta, Tojin及びLa Majaguaの3候補地について調査を行った。引き続き農業土木技術団員2名は、これら3候補地に於いて約1ヶ月間の現場調査を行い「展示農場」整備のための詳細設計・経費見積りを実施する。

本事業による整備の実施規模は、本調査の結果に基づき予算の範囲内で決定される。

3. 「展示農場」整備内容の概要

本調査団は、1で述べた目的に従い「展示農場」を整備するためには、以下の11項目について建設又は造成を行う必要があると判断する。但し、(9)～(11)については、ドミニカ共和国側の責任で整備するものとする。

(1) 作業棟

作業機械収納室、作業室及び倉庫を含む 150m² 程度の建物を各「展示農場」に1棟。

- (2) 脱粒・火力乾燥舎
胡椒の脱粒・火力乾燥及び湯洗の作業舎として70m²程度のものを各「展示農場」に1棟。
- (3) 天日乾燥場
黒胡椒の調整用として200m²程度のものを各「展示農場」に1基。
- (4) 水 槽
白胡椒の調整用として30m²程度のものを各「展示農場」に1基。
- (5) 用水施設
Shiera Prieta : 貯水槽1基及び配管
Tojin及びLa Majagua : 井戸, 貯水槽, 揚水用発電設備を各1基及び配管
- (6) 育苗用遮光舎
300m²程度のものを各「展示農場」に1基。
- (7) 周 辺 棚
「展示農場」を囲むものを出入口の開閉式門を含め各「展示農場」に1セット。
- (8) 農場内道路
「展示農場」内の施設間連絡用として道路を造成する。
- (9) 指導技術者宿舎
技術者・管理人等の宿泊施設として各「展示農場」に1棟。
- (10) 胡椒栽培圃場
展示及び母樹栽培用として各「展示農場」ごとに3～4haの圃場を造成する。
- (11) アクセス道路
幹線道路から展示圃場入口までの道路を整備する。

4. 日本側の取るべき措置

- (1) JICAは、本調査団の報告書を受け内容について検討した後、決定に基づき必要経費を供与する。
- (2) JICAは、施工管理専門家を派遣する。

5. ドミニカ側の取るべき措置

- (1) 別紙スケジュールに基づき事務手続きを行う。
- (2) 農地庁は本事業を実施するために必要な土地を確保する。
- (3) 農地庁は 3つの (9)～(11)に示した以下のインフラストラクチャー整備を行う。

- (i) 指導技術者宿舎の建設
- (ii) 胡椒栽培圃場の造成
- (iii) アクセス道路の整備補修

特に(iii)については、日本側による整備事業の開始に影響を与えるので日本側工事着手以前に整備する。

尚、Cruce de Hato Nuevo, Km22からSiera Prietaの入植地へ至る幹線道路の途中にある崩壊部分は早急に復旧するよう要望する。

- (4) 農地庁は本事業による整備完了後「展示農場」を効果的に運営・管理するための準備を行う。
- (5) 本事業が円滑に遂行され、その効果を十分に上げるためには、農地庁が主体となり、ドミニカ共和国側関係者が、本「Reporte Sumaria」に記述されている内容を良く理解し、必要な予算の確保をする。

6. 事業実施日程(予定)

別紙のとおり。

スケジュール

	日 本 側	ドミニカ共和国側
1989		
1月	実施設計調査 (ミッション) 基礎調査	土地の確保
2月	ミッションの報告 (建設工事の概要に関する情報) 於 JICA (2月21日)	専門家 AI フォームの準備 (建設監督)
3月	実施設計 (於日本) X X X X X	アクセス道路整備着手 建設工事の要求 (3月末)
	2月24日 3月25日	JICA 事務所経由
4月	JICA 本部 ←	AI フォーム (4月上旬)
5月	外務省協議 (5月末)	
6月		→ 口上書の交換 (6月上旬)
7月	建設監督専門家の派遣 (6月下旬)	アクセス道路整備完了
	予算示達 (6月下旬)	
	契約交渉 (6月下旬)	
	建設工事開始 (7月下旬)	宿舎建設、圃場造成

AGENCIA DE COOPERACION INTERNACIONAL DEL JAPON (JICA)

MISION JAPONESA PARA EL ESTUDIO DE LAS OBRAS DE
INFRAESTRUCTURA PILOTO DEL PROYECTO DE DESARROLLO
DEL CULTIVO DE PIMIENTA EN LA REPUBLICA DOMINICANA

Santo Domingo, D. N.
19 de enero de 1989.

Señor

Ing. Agrón. Antonio Ml. Camilo Camilo
Director General,
Instituto Agrario Dominicano,
SU DESPACHO.

Asunto: Resultado de las investigaciones sobre el
Diseño de las Obras de Infraestructura de
Fincas Modelos del Proyecto de Desarrollo
del Cultivo de Pimienta en la Rep. Dom.

La Misión Japonesa fue enviada para realizar inves-
tigaciones concernientes a Obras de Infraestructuras Pilotos,
las cuales están estipuladas en el artículo IV del Acta de
Discusiones del Proyecto de Desarrollo del Cultivo de Pimienta
en la Rep. Dom., firmada el 7 de julio de 1987.

A partir del 10 de enero de 1989 dicha Misión ha
sostenido varias reuniones con los funcionarios de la Secretaría
de Estado de Agricultura, Instituto Agrario Dominicano y con los
Expertos Japoneses. Así mismo ha realizado investigaciones de
Campo durante su estadía en el país.

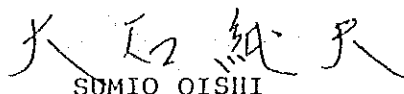
Basándose en los resultados de las Investigaciones realizadas hasta el presente, se ha recopilado los aspectos fundamentales en el "Reporte Sumario" que hoy le entregamos.

Dos de los miembros de la Misión (Ing. civiles agrícolas) se quedarán en el país realizando investigaciones de campo en los lugares seleccionados para el establecimiento de Obras de Infraestructura y basándose en el "Reporte Sumario" prepararán el Diseño Detallado y los Costos Estimados.

Por último, la Misión se siente muy complacida y agradecida por todas las atenciones y colaboraciones recibidas de las Autoridades Dominicanas y sobre todo de los técnicos del Instituto Agrario Dominicano.

En espera de que se profundice cada día más la amistad y la cooperación técnica entre la República Dominicana y el Japón, le saluda.

Atentamente,



SUMIO OISHI

Jefe de la Misión

c.c. Embajada del Japón.

Secretaría de Estado de Agricultura

ANEXO
"REPORTE SUMARIO"

1. PROPOSITO DE LA OBRA

El Proyecto de Desarrollo del Cultivo de Pimienta, tiene como propósito contribuir al desarrollo agrícola de la República Dominicana a través del desarrollo de las técnicas del cultivo de pimienta y sus demostraciones a los agricultores. Dicho Proyecto es el resultado del Acta de Discusiones, la cual fue firmada el 7 de julio de 1987; iniciándose de esta manera la cooperación técnica del Japón por un período de 5 años .

Para el año fiscal 1987 fueron ejecutadas las Obras de Mejoramiento de la Infraestructura, construyéndose las facilidades de Vivero, Invernadero, entre otras; en el Centro Nacional de Desarrollo Tecnológico del Cacao (CENDETECA) en Mata Larga, San Francisco de Macorís; cuyas Obras fueron entregadas a la Secretaría de Estado de Agricultura. Promoviéndose además, la cooperación técnica a través del envío de los Expertos de largo y corto plazo.

Las técnicas desarrolladas en este Proyecto, serán implementadas en las Fincas Modelos a nivel de los agricultores en forma demostrativa. Sin embargo, para poder realizar esto, se requiere construir las instalaciones en las Fincas Modelos.

Las Obras de Infraestructura Piloto tienen como propósito implementar Fincas Modelos con las siguientes funciones:

- (1) Demostrar las técnicas del cultivo de pimienta desarrolladas en el CENDETECA, SEA.

(2) Establecer fincas de plantas madres de pimienta y propagar plantitas sanas.

(3) Demostrar los métodos de administración de fincas de pimienta adecuados para cada zona.

2. LAS FINCAS MODELOS TOMADAS EN CONSIDERACION

La Misión ha realizado investigaciones sobre Sierra Prieta, Tojín y La Majagua; los tres posibles lugares seleccionados por el Instituto Agrario Dominicano.

Los dos técnicos, ingenieros civiles especializados en el área agrícola, proseguirán las investigaciones de campo por un período de un mes y prepararán el Diseño Detallado y costos estimados de las Obras para el establecimiento de las Fincas Modelos.

El alcance de las Obras estará determinado por los resultados de las investigaciones y por las disponibilidades del presupuesto del Japón.

3. RESUMEN DEL ALCANCE DE LAS OBRAS DE FINCAS MODELOS

La Misión considera la necesidad de construir y/o de establecer los 11 items abajo señalados, los cuales se basan en los propósitos indicados en el punto 1, para el establecimiento de Fincas Modelos.

Sin embargo, del (9) al (11) deberá realizarse bajo la responsabilidad de la Parte Dominicana.

- (1) Edificio para Taller
Incluye el Depósito para equipos y maquinarias, Taller de trabajo y Almacén. Será un edificio de aproximadamente 150m² que se construirá en cada Finca Modelo.
- (2) Taller de Trillado y Secador Térmico
Para el trillado, secado y lavado de la pimienta se construirá un edificio de aproximadamente 70m² en cada Finca Modelo.
- (3) Secadero al aire libre
Para la regulación de la pimienta negra se construirá un secadero de aproximadamente 200m² en cada Finca Modelo.
- (4) Pileta para agua
Para la regulación de la pimienta blanca se construirá una pileta de aproximadamente 30m² en cada Finca Modelo.
- (5) Instalaciones de Dotación de Aguas
En cada una de las Fincas Modelos, se construirán Cisternas e Instalaciones de Agua. Además en Tojín y La Majagua se construirá un pozo y un anexo para Generador.
- (6) Vivero
En cada Finca Modelo se construirá un vivero de aproximadamente 300m².
- (7) Cerca
Cada Finca Modelo estará cercada y tendrá un portón.
- (8) Caminos dentro de las Fincas Modelos
Se harán caminos para facilitar la comunicación dentro de la Finca Modelo.

(9) Vivienda para los técnicos

Se construirá una vivienda en cada Finca Modelo para alojar al encargado y a los técnicos.

(10) Campo para cultivo de pimienta

Se establecerá una finca con una extensión de 3-4 has para el cultivo de plantas madres y demostración en cada Finca Modelo.

(11) Vías de Acceso

Rehabilitación del camino que conduce a la Finca Modelo desde la carretera principal.

4. MEDIDAS A SER TOMADAS POR LA PARTE JAPONESA

(1) JICA, después de recibir el Informe de la Misión, estudiará y aportará el costo necesario para la ejecución de la Obra de acuerdo al alcance determinado.

(2) JICA enviará experto/s para la supervisión de Obras.

5. MEDIDAS A SER TOMADAS POR LA PARTE DOMINICANA

(1) Realizar los trámites burocráticos de acuerdo al Programa Tentativo anexo.

(2) El Instituto Agrario Dominicano asegurará los terrenos necesarios para la ejecución de las Obras.

(3) El Instituto Agrario Dominicano se hará cargo de la infraestructura de los items (9) al (11) del punto 3.

- a) Construcción de la vivienda para los técnicos.
- b) Establecimiento del campo para el cultivo de pimienta.
- c) Rehabilitación de las vías de acceso

Sobre todo para el punto c), se requiere que sean rehabilitados antes de iniciarse los trabajos de la Parte Japonesa, ya que de lo contrario, será afectada la marcha del trabajo.

Y sobre todo, en lo que se refiere al derrumbe que existe en el tramo que conduce del Cruce de Hato Nuevo, Km.22 de la Autopista Duarte a Sierra Prieta, Yamasá; reiteramos nueva vez que sea reparado lo más pronto posible.

- (4) El Instituto Agrario Dominicano, al término de la Obra deberá poder administrar eficazmente, las Fincas Modelos y realizará los preparativos necesarios para que las mismas tengan una adecuada eficiencia a nivel administrativo.
- (5) Para que dicha Obra se ejecute satisfactoriamente y resulte provechosa, es necesario que las Autoridades Dominicanas, en especial el Instituto Agrario Dominicano, comprendan perfectamente el contenido del "Reporte Sumario" para que puedan realizar trámites y asegurar el presupuesto necesario para su ejecución.

6. PROGRAMA DE EJECUCION DE LAS OBRAS (TENTATIVO)

Según lo indicado en la página siguiente.

(TENTATIVO)

PROGRAMA DE EJECUCION DE LAS OBRAS

1989	PARTE JAPONESA	PARTE DOMINICANA
Enero	Estudio sobre el Diseño Detallado Plan Básico de Trabajo	Garantizar terrenos
Febrero	Reporte de la Misión a la Sede Principal de JICA EN Tokyo (Informe Perfil Obras de Cons- trucción), Febrero 21	
	Preparación del Diseño Detalla- do en Japón; del 24 de febrero al 25 de Marzo	Preparación del Formulario A-1 para Experto/s Supervi- ción Obras de Construcción
Marzo		Inicio de la rehabilitación de las Vías de Acceso
		Solicitud para la Obra de Construcción, final de Marzo a través de Oficina de JICA en Sto. Dgo. Principio Abril
Abril	Sede Principal de JICA en Tokyo, Japón	Formulario A-1, al principio de Abril
Mayo	Consulta con el Ministerio de Relaciones Exteriores, final de mayo	Canje de Notas Principio de junio
Junio	Envío de Experto/s para la Supervisión de Obras, para final de junio	Término de la rehabilitación de Vías de acceso
	Determinación Presupuesto Final de junio	
Julio	Proceso para el Contrato final de julio	
	Inicio Obras de Construcción Final de julio	Inicio construcción de vivienda y establecimiento de Finca Modelo.

JICA